

新まちづくり計画 (H16 ~ 18) 事業総括調書

施策体系コード	1-4-2	事業名	「顔の見える農業」推進事業
担当	経済局農務部農政課 高栗 仁子 211-2406		
全体計画 (当初)			
事業内容	地産地消を基本とした、地元農産物の生産、流通、消費の拡大を推進する。 1. 「さっぽろとれたてっこ」流通販売促進 平成9年度実績、取扱店、2店舗、5品目、供給量 100トン 平成15年度実績、取扱店、89店舗、37品目、供給量 531トン、取扱額1億円 平成18年度目標、取扱店、100店舗、50品目、供給量 1,000トン、取扱額3億円 2. 魅力的な農産物の開発、生産普及、消費拡大 消費者や実需者ニーズにあった魅力的な農産物など、事業をリードする作目を導入することによって事業拡大を推進する。 (1) 伝統のタマネギ「札幌黄」の復活 (2) 夏どりアスパラガスの生産普及と消費拡大 3. 「さっぽろとれたてっこ」消費拡大、PR (1) 地元食材を活用した料理メニューの開発普及 (2) リンケージ・アップ フェスティバルなど各イベントへの出展		< 年度別の事業内容 > < 各年度の積算の考え方 > 1. 「さっぽろとれたてっこ」流通販売促進 735 千円 2. 魅力的な農産物の消費拡大 2,586 千円 3. 「さっぽろとれたてっこ」消費拡大、PR 690 千円 < 17年度以降事業費の概要 > 1. 「さっぽろとれたてっこ」流通販売促進 735 千円 2. 魅力的な農産物の消費拡大 3,000 千円 3. 「さっぽろとれたてっこ」消費拡大、PR 690 千円
	事業内容 (量・場所・規模等)	平成16年度事業内容 (決算) 地産地消を基本とした地元農産物の流通・消費拡大の推進 1,732 千円 消費者や実需者のニーズにあった魅力的な農産物の生産普及 ・「札幌黄」ルネッサンス事業 1,233 千円 ・夏どりアスパラガスの生産普及 1,008 千円 ・イチゴの高設栽培の生産普及 22 千円 (事業費:3,995千円)	平成17年度事業内容 (決算) 地産地消を基本とした地元農産物の流通・消費拡大の推進 1,018 千円 消費者や実需者のニーズにあった魅力的な農産物の生産普及 ・「札幌黄」ルネッサンス事業 1,277 千円 ・夏どりアスパラガスの生産普及 179 千円 ・イチゴの高設栽培の生産普及 70 千円 (事業費:2,544千円)
事業内容 (量・場所・規模等)	平成18年度事業内容 (決算) 地産地消を基本とした地元農産物の流通・消費拡大の推進 980 千円 消費者や実需者のニーズにあった魅力的な農産物の生産普及 ・「札幌黄」ルネッサンス事業 1,615 千円 ・夏どりアスパラガスの生産普及 182 千円 ・イチゴの高設栽培の生産普及 17 千円 (事業費:2,794千円)	評価 (成果) 魅力ある農作物を市民に提供するため、従来の玉ねぎ「札幌黄」を改良した「さつおう(札幌黄 世)」を開発し、試験販売をおこなった。 夏どりアスパラガス、高設栽培いちごなどを札幌ブランドとしてPRした結果、広く市民に認知され、新しい札幌の農業が進展しつつある。 食の安全安心に対する市民の関心の高まりとともに、「地産地消」の機運も高まり、「さっぽろとれたてっこ」の認知度も上がっている。 農業者も生産者責任としての新鮮・安心・高品質に対する意識の向上から、平成19年度スタートの「さっぽろとれたてっこ認証制度」への関心も高まっている。	
	19年度以降の方向性 (事業予定) 市民に、より高い信頼を得るべく、加工品や畜産物も含めた「さっぽろとれたてっこ認証制度」を19年度より実施。 魅力的な農産物の開発や栽培法の確立と生産普及(「さっぽろとれたてっこ」に付加価値のある品目を追加) 消費者ニーズに直に対応するとれたてっこ参画農家を増加させることにより、環境保全型農業を推進する。 「さっぽろとれたてっこ」農産物の販売促進PRの実施による取扱量及び取扱店舗数の増加。		

